



自主 自律 自愛

小島中だより



第 6 号

令和 7 年 8 月 28 日発行

県中総体 男子ハンドボール 水泳共通男子 100m・200m 背泳ぎ 優勝・九州大会出場!

7月26日(土)～28日(月)(水泳競技:7月19日(土)・20(日))に、令和7年度長崎県中学校総合体育大会が開催されました。本校からは、ハンドボール競技(男子・女子)バドミントン競技(男子シングルス)・水泳競技(男女個人・男子リレー)が出場しました。ハンドボール競技男子優勝、水泳競技共通男子 100m・200m 背泳ぎ 1 位の結果となり、それぞれ熊本県(ハンドボール競技)、大分県(水泳競技)で開催される九州中学校体育大会に出場しました。各部選手たちは、これまでの思いを含め、長崎市、長崎県の代表として頑張りました。各選手・部員・関係者のみなさんお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

第 15 回 “社会を明るくする運動” 長崎地区中学・高校生弁論大会

7月24日(木)、長崎地区保護司会 弁論部会主催の「第 15 回 “社会を明るくする運動” 長崎地区中学・高校生弁論大会」がベネックス長崎ブリックホール 国際会議場にて開催されました。長崎地区の中学生 15 名・高校生 5 名の代表が自分の思いを語ってくれました。本校からは 3 年生生徒が本校代表として参加しました。

「未来を照らす」と題して、「過ちを犯してもいい。同時に許すことも大切だ」と映画アイアンマンを演じた、ハリウッド俳優のロバート・ダウニー・jr を例に挙げ、話を進めてくれました。アメリカでは、罪を犯した後の人生を、見つめ直すことで、やり直すチャンスがあること、そして犯罪を行った人は、幼いころの家庭環境や、自分は必要ないと感じることによって犯罪に手を染めてしまっていることを訴えました。そして、自分たちはその人の家庭環境を変えることはできないが、お互いに素直な感情を出して、笑え合える関係をつくることで、その人の存在の大切さを伝えることができると話してくれました。

そして、「社会を明るくする」とは、今、さまざまな理由で足元が暗い人を温かい言葉で照らし、今の社会全体の足元を明るくする。そして、これから先の未来も明るく照らしていくことと捉え、だからこそ、犯罪を認めてはいけませんが、罪を犯してしまった後、頑張っている人の未来は認めていいのかもしれないとまとめてくれました。



第 45 回 “少年の主張長崎県大会 ～わたしの主張 2025～

8月20日(水)、長崎県青少年育成県民会議主催の「第 47 回 少年の主張長崎県大会～わたしの主張 2025～」がベネックス長崎ブリックホール 国際会議場にて開催されました。長崎県内より選出された中学生 13 名が、自分の思いを語ってくれました。本校からは 3 年生生徒が代表として参加しました。

優秀賞受賞

(県 PTA 連合会賞)

「そのままでもいい、私のままでいい」と題して、一人一人をキャンディーに例え、色も形も、甘さもすべてが同じ世界ならきっと飽きてしまいませんかと訴えました。そして、過去の友達との関係で感じた経験をもとに、自分を見つめ直し、いつもそばにいてくれた母からの言葉、「私は私だから、その人はその人だから」をきっかけに、他の人と意見が違ふことは悪いことではなく、ありのままの自分、自然体の自分のほうが、思いのままを話せる相手と繋がり自分らしくいられると話してくれました。そして現在、生徒会役員として一人一人の個性を大切にする学校を目指し、「キャンディー」をスローガンとし、仲間とともに、みんなが個性を発揮できるよう一人一人の意見を聞いたり、季節ごとのイベントの企画・運営に力を注いでいること、自分自身を大切に、自分を見失うことなく、「私はこれでいい」と思える強さを身につけていきたいと思っていることを語ってくれました。そして、世界にはいろいろなキャンディー(一人一人)があって良く、それぞれが、かけがえのない存在であることに、胸を張れる社会にしていきたいとまとめてくれました。